



「大阪のくだおれ」ってどうしていうの

大阪の人は食べ物にぜいたくをする

くだおれ(食い倒れ)とは、食べ物にぜいたくをして、財産をなくし、貧乏になることをいいます。

「大阪のくだおれ」とは、大阪の人は、食べることや、食べ物にたいする欲望がとても強くて、おいしいものを食べるのにたくさんのお金を使い、くだおれになる傾向があるということです。このことは、大阪の人は、食べ物の味にとっても敏感だ、ということにもなります。

大阪の人は、「おいしいものを食べたい」という気持ちがとても強く、また、大阪には、おいしいものを食べさせてくれるお店が、たくさんあるということにもなるのです。

「京の着倒れ」

京都の人は、着るものにぜいたくをして、財産をへらしてしまう傾向があることを、「京の着倒れ」といいます。京都の人は、着物のことをよく知っているということにもなります。京都には、西陣織などのすばらしい織物があり、着物にたいする興味が強かったのです。

京都の人や大阪の人のこのような傾向を表して、「京の着倒れ、大阪の食い倒れ」といいます。(監修・田代 脩)

